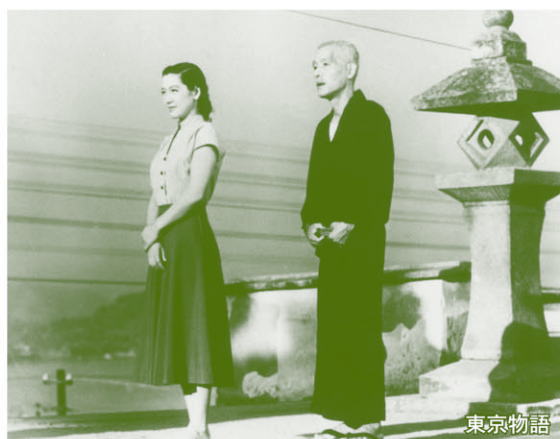


収蔵作品特集

日本映画名作選

収蔵作品の中から、福岡ゆかりの映画を中心に

名作・秀作をセレクトして上映。



東京物語



黒田騒動



また逢う日まで



火宅の人

1/ 5 【土】
11:00
1/ 11 【金】
18:30



隣の八重ちゃん

日本のトーキー初期の名作。無声映画の影響やトーキー効果強調しすぎた演出から脱却して自然な会話や音を意識した作品で、これによりトーキー映画の演出スタイルに新しい方向性が示された。映画は中流階級のある家族を主人公とするホーム・ドラマ。市井の人々の日常を軽快なテンポで流れるように描いた前半が特に評価が高い。

監督：島津保次郎 出演：逢初夢子 岡田嘉子
1934年／16ミリ／モノクロ／77分／松竹

1/ 11 【金】
14:00
1/ 14 【月・祝】
11:00



黒田騒動

江戸時代の三大お家騒動の一つで講談などでも有名な「黒田騒動」。黒田藩第二代藩主、黒田忠之は就任早々から乱行が続き、これを諫める忠臣、栗山大膳を遠ざけ、幕府の禁令に触れる巨船の建造を計画する。これを知った大膳は一計を案じ、大河内傳次郎、入江たか子ら豪華キャストで描いた大作時代劇。

監督：池田富保 出演：大河内傳次郎 黒川弥太郎
1936年／16ミリ／モノクロ／96分／日活

1/ 14 【月・祝】
14:00
1/ 24 【木】
14:00



黒田騒動

江戸三大お家騒動の一つといわれ、講談などでも有名な「黒田騒動」は戦前から幾度となく映画化されたが、本作は北条秀司の原作による「側室・お秀の方が実は隠れ切支丹」という新説に基づいた一編。監督は内田吐夢。主演は片岡千恵蔵による東映時代劇全盛期における娯楽作品。

監督：内田吐夢 出演：片岡千恵蔵 大友柳太朗
1956年／35ミリ／モノクロ／108分／東映

収蔵作品特集

日本映画名作選

収蔵作品の中から、福岡ゆかりの映画を中心にセレクトして上映。

会 期：1月5日(土)～2月2日(土) ※休館日・休映日を除く

観覧料：500円(大人)／400円(大学生・高校生)／300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は250円(会員証の提示が必要です。)

1/ 6 【日】
11:00
1/ 18 【金】
14:00



鴛鴦歌合戦

日本初のオペレッタ時代劇といわれる作品。予定作が中止となつたために、わずか一週間程で撮りあげたという作品だが、出演者の持ち味を存分に生かしたお気楽な展開や、江戸時代的人物がジャズをバックに歌い踊るという荒唐無稽さが楽しい。片岡千恵蔵扮する主人公の浪人に對する、恋の鞘当て・ディック・ミネ演ずる殿様や志村喬の浪人の骨董品比べが楽しい。

監督：マキノ正博 出演：片岡千恵蔵 市川春代
1939年／35ミリ／モノクロ／69分／日活

1/ 9 【水】
14:00
1/ 12 【土】
11:00



博多どんたく

博多八丁兵衛こと西浜屋徳蔵は、正義感にあふれた権力にも屈しない男だが、大の女嫌い。そんな彼がある時、悪徳商人・源右衛門に迫られ困つていた芸者のおせいを助ける。おこつた源右衛門はおせいの誘拐を画策し、「狐が呉れた赤ん坊」で注目を集めた丸根賛太郎監督、福岡出身の八尋不二脚本による痛快時代劇の佳作。

監督：丸根賛太郎 出演：阪東妻三郎 入江たか子
1948年／16ミリ／モノクロ／78分／大映

1/ 10 【木】
14:00
1/ 19 【土】
11:00



また逢う日まで

まだ戦争の記憶の生々しい時代に作られた名作恋愛映画。空襲中に知り合った若い二人の悲恋をロマンチックに描き、戦争の悲慘さを訴えている。ロマン・ロランの「ピエールとリュイス」をもとに水木洋子と八住利雄が脚色、主人公のカップルを久我美子と岡田英次が好演している。

監督：今井正 出演：久我美子 岡田英次
1950年／35ミリ／モノクロ／111分／東宝

1/ 13 【日】
11:00
1/ 17 【木】
14:00



めし

林芙美子の遺作となつた未完の小説を成瀬巳喜男が映画化した秀作。成瀬が林文学を手がけた最初の作品であり、彼が戦後のスランプを完全に脱したと高く評価された。平凡な庶民生活とそこでおこる心理の綾を繊細な演出で描いている。主演は上原謙と原節子。子供もなく倦怠期を迎えたサラリーマンの夫婦のもとへ、夫の姪が家を出てくる…。

監督：成瀬巳喜男 出演：上原謙 原節子
1951年／35ミリ／モノクロ／97分／東宝

1/ 6 【日】
14:00
1/ 13 【日】
14:00



東京物語

尾道に住む老夫婦がふと思ひ立ち、成人して東京へ出た子供達を訪ねる。しかし実の娘や息子はそれぞれの生活に追われ、突然上京してきた老父母を疎ましく思う。そんななか唯一、亡くなった次男の嫁だけが親身に世話をするのだった。小津安二郎の代表作にして世界的名作。

監督：小津安二郎 出演：笠智衆 原節子
1953年／35ミリ／モノクロ／136分／松竹

1/ 10 【木】
18:30
1/ 12 【土】
17:00



血槍富士

内田吐夢の戦後第一作。日頃はきわめて人がよくて温厚だが、酒癖が悪く禁酒中の若侍、小十郎は槍持の権八と源太を帯同して東海道を江戸に向かつていた。宿場町の宿で起こる人間模様と主人に対する忠義を全うする槍持の姿を絡ませた人情味あふれる時代劇。戦前の月形龍之介主演「道中悲記」のリメイク。

監督：内田吐夢 出演：片岡千恵蔵 月形龍之介
1955年／35ミリ／モノクロ／94分／東映

1/5【土】
14:00
1/12【土】
14:00

人情紙風船



天才といわれた山中貞雄の現存する数少ない作品の一つ。29才の若さで病死した彼の遺作であり、映画史に残る名作。原作は河竹黙阿弥の歌舞伎狂言。貧乏長屋に住む浪人、海野又十郎は父の知人の毛利に士官の口添えを頼みに行くが、相手にされない。一方、髪結いの新三は勝手に賭場を開帳していたことを土地の親分に知られてしまい…。

監督：山中貞雄 出演：河原崎長十郎 中村吉右衛門
1937年/35ミリ/モノクロ/86分/前進座=P.C.L.

1/20【日】
11:00
1/30【水】
14:00

心中天網島



大阪の紙屋治兵衛は妻子がありながら、遊女の小春と心中を考えるまでも実兄や妻の忠告によつて、一度は小春と縁を切った治兵衛だったが、小春が意に添わぬ男に無理矢理身請けさせようだということを知り…。

1969年/35ミリ/モノクロ/103分/ATG=表現社

篠田正浩は大島渚、吉田喜重と並び、「松竹ヌーベルバーグ」の旗手として注目された監督。その彼が1969年ATGの1000万円映画として製作したのがこの「心中天網島」である。原作は近松門左衛門の人形浄瑠璃であり、近松文学の最高傑作といわれるもの。脚本は現代音楽家の武満徹、詩人の富岡多恵子、そして篠田正浩の三人。また美術にはグラフィックデザイナーの粟津潔を起用するなど、当時の先鋭的な才能を集めて作られた。演出も岩下志麻のダブルキャスト、白と黒のコントラストを強調した美術、舞台的な手法を駆使しているが、中でも要所で画面に黒子が登場し、登場人物達を操るといっていい。スタイルが強い印象を残し、古典文学と前衛的ともいえる手法が見事に融和した作品となった。

監督：篠田正浩 出演：岩下志麻 中村吉右衛門

1/23【水】
14:00
2/2【土】
17:00

鉄腕投手 稲尾物語



西鉄ライオンズのエースとして活躍し、「神様、仏様、稲尾様」といわれた名投手、稲尾和久の半生を描いた映画。西鉄ライオンズが日本シリーズにおける奇跡の逆転優勝を飾った翌年に製作、公開され、選手として全盛期だった頃の稲尾が主役。つまり本人役で出演している。共演は志村喬、浪花千栄子他。演技は決して上手いとはいえない稲尾だが、その存在感は圧倒的である。

監督：本多猪四郎 出演：稲尾和久 白川由美
1959年/35ミリ/モノクロ/105分/東宝

1/19【土】
14:00
1/24【木】
18:30

花と龍



火野葦平原作の同名小説の映画化。明治から大正時代の北九州・若松を舞台に、男を上げるため、故郷をでた玉井金五郎が沖仲仕の親方となつていくまでを描いている。どんな相手にもひるまず、正々堂々と素手で立ち向かう姿が、爽快である。山下耕作の映像美と中村錦之助の名演が光る傑作。

監督：山下耕作 出演：中村錦之助 佐久間良子
1965年/35ミリ/カラー/97分/東映

1/19【土】
17:00
1/25【金】
18:30

続・花と龍 洞海湾の決斗



1965年の「花と龍」の続編。若松港に沖仲仕の一家を構えた玉井金五郎が、ライバルの友田喜造の汚い妨害工作などと戦いながら、沖仲仕のために組合結成をサポートしていく。出演は他に佐久間良子、淡路恵子、月形龍之介など。任侠映画ブームの頃の作品だが、金五郎をあくまで男気溢れる熱血漢として描いている。

監督：山下耕作 出演：中村錦之助 佐久間良子
1966年/35ミリ/カラー/90分/東映

1/18【金】
18:30
1/27【日】
11:00

妖刀物語 花の吉原百人斬り



織物問屋の主人次郎左衛門は商売熱心で店も繁盛しているが、生まれながらに顔に痣があり、そのために未だ独身。そんな彼が生まれて初めて行った吉原で、遊女上りの玉鶴にやさしくされ、たちまち熱を上げるが、歌舞伎の籠釣瓶花街酔醒かこつるべきとのえいざめーを原作にした巨匠・内田吐夢の代表作の一つ。

監督：内田吐夢 出演：片岡千恵蔵 水谷良重
1960年/35ミリ/カラー/108分/東映

1/20【日】
14:00
1/25【金】
14:00

ダイナマイトどんどん



米軍の占領統治時代の北九州が舞台。岡源組と新興の橋伝組の抗争が激しさをまし、警察署長の提案で、野球大会で決着をつけることになるが、職人肌の天才監督として、また日本では数少ない本格的なアクション映画を撮れる監督として評価の高い岡本喜八の傑作娯楽任侠コメディ野球映画。

監督：岡本喜八 出演：菅原文太 北大路欣也
1978年/35ミリ/カラー/142分/大映=東映

1/26【土】
17:00
2/1【金】
14:00

太陽を盗んだ男



一見、うだつの上がらない中学の理科教師が、原子力発電所に移送中のプルトリウムを強奪し、自宅でプルトリウム爆弾を製造。日本政府を脅迫するが…。日本映画を代表するサスペンスアクション映画の名作の一つ。無目的に爆弾を作る虚無的な犯人役を沢田研二が好演している。

監督：長谷川和彦 出演：沢田研二 菅原文太
1979年/35ミリ/カラー/147分/キティフィルム

1/26【土】
11:00
2/2【土】
11:00

野蠻人のように



若い女性小説家が暴力団の内部抗争に巻き込まれ、訳もわからないままに偶然出会ったちんぴらと共に命を組む。当時アイドルの人気を博していた薬師丸ひろ子主演によるアクションサスペンス。共演は柴田恭兵、不思議の国のアリスをモチーフにしたボツブでカラフルな演出と派手なアクションがミックスされた作品である。

監督：川島透 出演：薬師丸ひろ子 柴田恭兵
1985年/35ミリ/カラー/108分/東映

1/27【日】
14:00
2/2【土】
14:00

火宅の人



作家の桂一雄は子供のことをきつかけに後妻のヨリ子に妖しげな宗教に走り、自らも新劇女優の恵子と関係して家を飛び出してしまふ。原作は壇一雄の同名小説。表層的な卑俗さと裏腹に人間への深い洞察や諦念を秘めた原作を見事に表現した文芸映画の傑作。

監督：深作欣二 出演：緒形拳 いしだあゆみ
1986年/35ミリ/カラー/132分/東映

1/26【土】
14:00
2/1【金】
18:30

風音



沖縄出身の芥川賞作家、目取真俊の「風音」などの小説をもとに、原作者自身が書き下ろした脚本を、東陽一が演出した人間ドラマ。沖縄の風景や歴史が現代の沖縄の人々の視線、感覚で描かれていく。沖縄のある島に和江とマサシが帰つてくる。島には風葬場があり、こめかみに穴の開いた頭蓋骨があった。風がそこを通ると島に風音が響き…。

監督：東陽一 出演：つきみきほ 上間宗男
2004年/35ミリ/カラー/106分/シグロ

1月

上映スケジュール

12/28 金 ▶ 1/4 金 年末・年始の休館日

日本映画名作選

5 土	11:00 隣の八重ちゃん	14:00 人情紙風船	
6 日	11:00 鴛鴦歌合戦	14:00 東京物語	
7 月		休 館 日	
8 火		休 映 日	
9 水		14:00 博多どんたく	
10 木		14:00 また逢う日まで	18:30 血槍富士
11 金		14:00 栗山大膳	18:30 隣の八重ちゃん
12 土	11:00 博多どんたく	14:00 人情紙風船	17:00 血槍富士
13 日	11:00 めし	14:00 東京物語	
14 月祝	11:00 栗山大膳	14:00 黒田騒動	
15 火		休 館 日	
16 水		休 映 日	
17 木		14:00 めし	
18 金		14:00 鴛鴦歌合戦	18:30 妖刀物語 花の吉原百人斬り
19 土	11:00 また逢う日まで	14:00 花と龍	17:00 続・花と龍 洞海湾の決斗
20 日	11:00 心中天網島	14:00 ダイナマイトどんだん	
21 月		休 館 日	
22 火		休 映 日	
23 水		14:00 鉄腕投手 稲尾物語	
24 木		14:00 黒田騒動	18:30 花と龍
25 金		14:00 ダイナマイトどんだん	18:30 続・花と龍 洞海湾の決斗
26 土	11:00 野蛮人のように	14:00 風音	17:00 太陽を盗んだ男
27 日	11:00 妖刀物語 花の吉原百人斬り	14:00 火宅の人	
28 月		休 館 日	
29 火		休 映 日	
30 水		14:00 心中天網島	
31 木		休 館 日	
2/1 金		14:00 太陽を盗んだ男	18:30 風音
2 土	11:00 野蛮人のように	14:00 火宅の人	17:00 鉄腕投手 稲尾物語

次号予告

収蔵作品特集 ドキュメンタリー映画特集

平成19年9月に亡くなった佐藤真監督の「阿賀に生きる」。大評判となった「蟻の兵隊」などドキュメンタリーの秀作10作品を上映。

会 期：2月6日(水)～17日(日) ※休館日・休映日を除く。

上映作品：「阿賀に生きる」「蟻の兵隊」「SAWADA」など10作品。



「阿賀に生きる」



「蟻の兵隊」

第95回 福岡日伊協会映画鑑賞会

「トスカ」撮影/1933年～40年

監督：ジャン・ルノワール/音楽：シャコモ・ブッチーニ/出演：インペリオ・アルシェンチーナ他

日 時：2008年1月25日(金) 19:00～21:00 ※入場無料・先着120名

会 場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

主 催：福岡日伊協会 TEL092-476-1111(西日本シティ銀行内)

協 力：財団法人福岡文化財団

【福岡アジア美術館新年イベント】

ちょっと昔の韓国映画ウィーク 一名作からコメディまで

70年代から90年代までバラエティに富んだ韓国映画を無料上映。

会期：2008年1月2日(水)～6日(日)

会場：あじびホール(福岡アジア美術館8階)

※全作品VHSテープ上映。日本語字幕付き。観覧料無料

※お問い合わせ先：福岡アジア美術館 092-263-1100

上映作品および上映日時

2日(水) 10:00/4日(金) 15:00

「丙泰と英子(ビュンテとヨンジャ)」 1979年 監督：ハ・ギルチョン

2日(水) 12:30/4日(金) 17:30

「鉄人たち」 1982年 監督：ペ・チャンホ

2日(水) 15:00/5日(土) 10:00

「みんなで歌おう」 1979年 監督：ユ・ヒョンモク

2日(水) 17:30/5日(土) 12:30

「カッコーは夜中に鳴く」 1980年 監督：チョン・ジヌ

3日(木) 10:00/5日(土) 15:00

「うま年生まれ嫁」 1979年 監督：イ・ヒョンピョ

3日(木) 12:30/5日(土) 17:30

「ミスター・マンマ」 1992年 監督：カン・ウソク

3日(木) 15:00/6日(日) 10:00

「霧の村」 1982年 監督：イム・グォンテク

3日(木) 17:30/6日(日) 12:30

「その年の冬は暖かった」 1984年 監督：ペ・チャンホ

4日(金) 10:00/6日(日) 15:00

「ヘア・ドレッサー」 1995年 監督：チェ・ジンス

4日(金) 12:30 6日(日) 17:30

「若い男」 1993年 監督：ペ・チャンホ

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄

●西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

●天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約20分)

●博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約25分)

●福岡タワー南口バス停から徒歩3分

所要時間は交通事情により異なります。

お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセン

ター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください

地下鉄西新駅



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)：092(852)0600

映像資料課：092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館映像ホール・シネラHP「うえぶシネラ」<http://www.cinela.com>

西部ガスグループが提案する
シニアの邸宅。



アンペレーナ百道

介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)予定

モデルルーム公開中

福岡市図書館より海方向へ徒歩約5分。

TNC放送会館内(定休日：毎週水曜)

0120-312-814

(社)全国有料老人ホーム協会会員
西部ガスライフサポート(株)

